

電子黒板で出来ること

*本マニュアルは電子黒板の導入時の操作を説明しています。
更に詳しい説明は、「ユーザーズガイド」(P.8)よりWEBでご確認ください。

- パソコンやインターネットの画面を提示できる
- 大画面で児童・生徒に一齐に提示できる
- 提示した画像に手書きで「板書」ができる



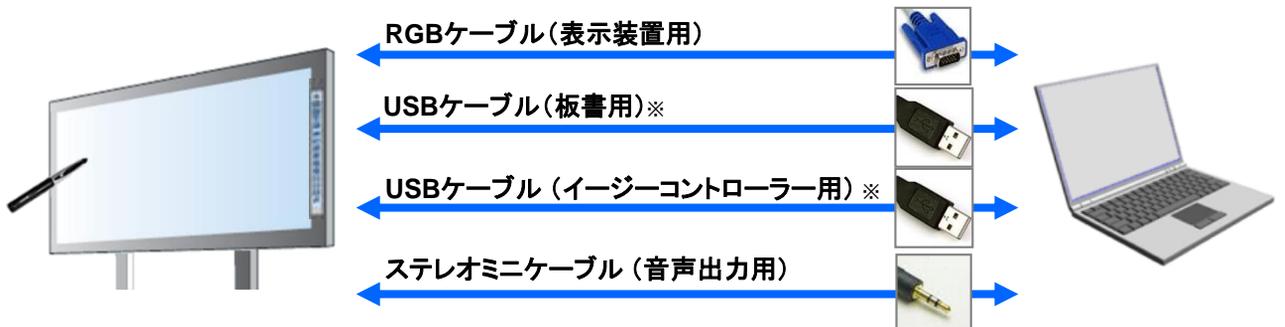
電子黒板はどのタイプでも同じ操作感で使えます

授業を始める前に

電子黒板の準備

電子黒板とパソコンが接続されていない場合

電子黒板とパソコンを4つのケーブルで接続します。



※ご利用のシステムによっては、USBケーブル(板書用/イージーコントローラー)が兼用となることがあります。

※ご利用のシステムによっては、USBケーブルの代わりにワイヤレスアダプタとなることがあります。

STEP1

表示装置(ディスプレイ、プロジェクタなどの)の電源を入れます。

ディスプレイ

プロジェクタ



STEP2

パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

パソコン



【パソコン画面が表示されない場合】
表示装置の入力切替で、
パソコン画面を表示してください。

STEP3

イージーコントローラーの「ボタン操作 ON/OFF」をタッチします。

イージーコントローラー



基礎編

応用編

便利機能

電子黒板を操作するには

STEP1

イーजीコントローラーから
操作したい機能を選びます。

STEP2

画面に指、専用ペンでタッチして
選択した機能を使います。

画面タッチして、書き込みます。

画面タッチして、拡大したい箇所を選択します。

画面タッチして、消したい箇所を選択します。

パソコンの画面上に板書する



- 1回目タッチ(消しゴムやマウス状態の場合)
画面上に板書できるようになります。
- 2回目タッチ(ペン状態の場合)
ペンパレットが表示され、ペンの色/太さの変更が可能となります。

通常色(通常ペン)、マーカー色(マーカーペン)との切換を行います。

ペンの太さの調整を行います。

書き込んだ板書を消す



- 1回目タッチ(ペンやマウス状態の場合)
このボタンをタッチした後、消したい箇所を下図のように選択して消すことができます。
- 2回目タッチ(消しゴム状態の場合)
画面に表示されているすべての板書を削除します。
表示される確認のダイアログの「はい」をクリックすると画面に表示されているすべての板書が消えます。

3回目タッチで全消去をキャンセルします。
(「いいえ」ボタンと同じ動作)

NAVI ナビ

配信

比較

画面メモ

ペン

消しゴム

マウス

黒板⇄パソコン

拡大

ページ送り

ページ戻し

スキャナカメラ

ツールバー

ボタン操作 ON/OFF

更に詳しい情報を操作ビデオ付でWEB公開中

※ WEBの表示方法は「ユーザーズガイド」(P.8) 参照

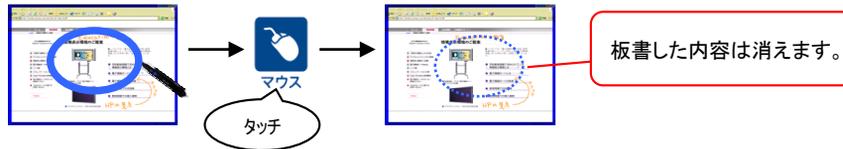
パソコンのデスクトップ画面を操作する



ペンや消しゴムの状態から、パソコンのデスクトップ画面やデジタル教材画面が操作できます。

なお、「マウス」ボタンをタッチすることで、画面に表示されている板書が消えます。

板書を残したい場合、「P.4 画面を取り込む」で残すことができます。

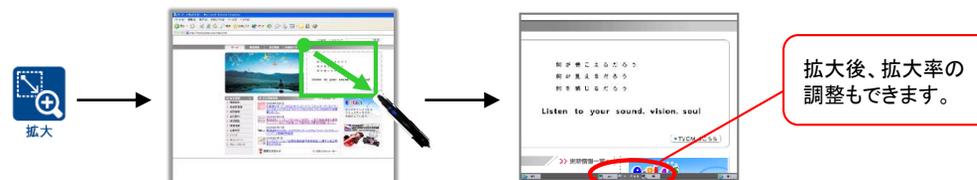


画面を拡大表示する



拡大したい箇所を下図のように選択して拡大表示することができます。

拡大中も板書することができます。もう一度、「拡大」ボタンをタッチすると、元の大きさに戻ります。



拡大画面の移動は、手のひらツールを使用します。

「マウス」ボタン をタッチして、手のひらツール を表示します。

表示している画面をクリックしてつかみ ドラッグして移動させます。

電子黒板ソフトを終了する



動作中にタッチすると、電子黒板システムのソフトウェアを一括終了します。

終了時に保存されていないデータがある場合、フォルダを指定して保存できます。



※保存操作は、終了時以外でも行えます。(P.5) 参照

※保存したデータは、NAVI画面の「教科メモリフォルダ 呼出」(P.5) から再活用できます。

バルーン表示について

イーजीコントローラーのボタンを操作すると、画面右下に説明用のバルーンが表示されます。バルーンには、次の操作へのナビゲーション、ボタンをタッチした後の状態説明が表示されますので、ご確認ください。

バルーン表示一例

ペンが使えます
(もう一度ボタンを押すとペンの色のシレットが表示されます)

基礎編

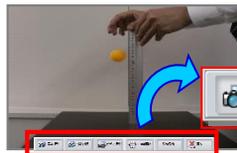
応用編

便利機能

スキャナカメラで実物を表示する



本やノート、立体物や動作などをスキャナカメラを通じてパソコン画面に表示します。パソコンに表示された画像の上にはペンで書き込むこともできます。



画面の下にあるボタンでカメラの操作ができます。

操作をキャンセルして直前の画面に戻ります。



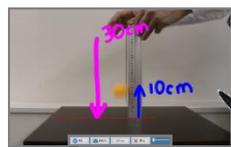
※スキャナカメラはオプション品です。

画面を取り込む



パソコンに表示している画面を「黒板モード」ページとして取り込み、一時保存します。

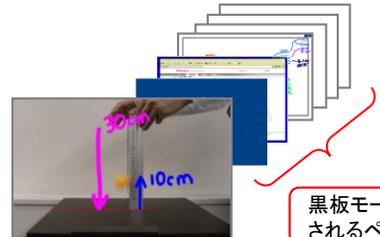
※画面メモで一時保存したページを確認するには、「黒板⇄パソコン」ボタンをタッチして、「黒板モード」に切り換えます。



表示中の画面を取り込みたい時に
(イメージは動画再生画面)



ボタンをタッチ



取り込んだ画面が「黒板モード」の1ページとして追加されます。

黒板モードで管理されるページ

黒板⇄パソコンモードを切り換える



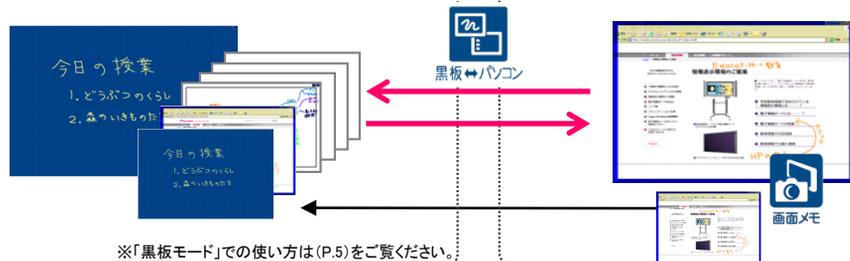
電子黒板にはいくつかのモードがあります。「黒板⇄パソコン」ボタンをタッチすることにより、「黒板モード」⇄「パソコンモード」モードを切り換えることができます。

黒板モード

「画面メモ」や「写真撮影」で取り込んだ画面を取り込んだ順にページ管理するモードです。最後のページに空白のページが出来ますので、自由に板書していただくことも可能です。

パソコンモード

普段お使いのアプリケーション(デジタル教科書やWEBブラウザなど)を操作・閲覧できるモードです。表示されている画面に直接板書することができます。



※「黒板モード」での使い方は(P.5)をご覧ください。

更に詳しい情報を操作ビデオ付でWEB公開中

※ WEBの表示方法は「ユーザーズガイド」(P.8) 参照

ページ送り/ページ戻しをする



「黑板モード」のページを進めたり、戻したりすることができます。
「黑板モード」最後のページでページを進めると、新しい空白のページが作成できます。

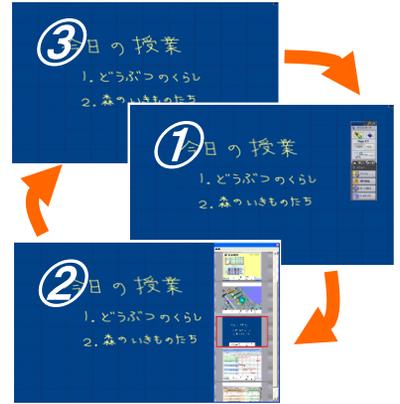
※「パソコンモード」でスライドショーが表示されているときも使用できます。

ツールバーを表示する/黑板モードのページ一覧を表示する/消す



「黑板モード」でのボタン操作の説明です。

- 1回目タッチ(右図 ①)
ツールバーを表示します。
* ツールバーを表示することにより、電子黒板ソフトの全ての機能を利用することができます。
- 2回目タッチ(右図 ②)
ツールバーを消して、「黑板モード」のページ一覧ウィンドウを表示します。
* ページをサムネイルで確認できる以外にも、ページの移動・コピー・削除などが行えます。
- 3回目タッチ(右図 ③)
ページ一覧ウィンドウを消します。



※「パソコンモード」ではボタン操作でツールバーの表示/消去を行います。上図①⇔③の繰り返し。

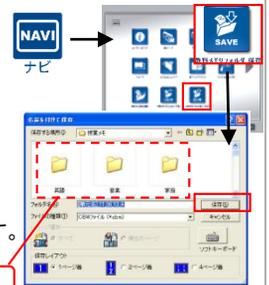
授業の内容を保存する (終了時以外)



電子黒板を終了する以外にも、次の手順で授業の内容(「黑板モード」のページ)を保存することができます。

1. 「ナビ」ボタンをタッチします。
⇒ NAVI画面が表示されます。
2. NAVI画面から、「教科メモリフォルダ 保存」ボタンをタッチします。
⇒ 保存ダイアログが表示されます。
3. 教科ごとのフォルダに移動してから、「保存」ボタンを押してください。
⇒ 保存時の日付のフォルダが作成されます。
その日付フォルダ内に のアイコンのファイルが保存されます。

※NAVI画面の使い方は(P.6)参照。



教科ごとのフォルダ

振り返り/保存ファイルを開く



前回の授業で保存した「黑板モード」のページを開くことができます。

1. 「ナビ」ボタンをタッチします。
⇒ NAVI画面が表示されます。
2. NAVI画面から、「教科メモリフォルダ 呼出」ボタンをタッチします。
⇒ 登録されている教科メモリフォルダが表示されます。
3. 前回保存した単元フォルダの中からファイル をダブルクリックします。
⇒ 前回の授業内容が「黑板モード」に開かれます。

※NAVI画面の使い方は(P.6)参照。



基礎編

応用編

便利機能

授業支援ツールを使う

(xSync対応モデル)

xSyncと組み合わせることで、電子黒板を授業支援システムと連携させてご利用いただけます。



学習者用端末に対して、電子黒板の画面に表示されている映像を画像として、配布することができます。
xSyncを起動することもできます。(P.7) 参照
※ 本機能の利用には別途、xSyncライセンスが必要となります。



協働的な学びで重要となる「比較」や「グルーピング」を支援する機能を呼び出します。

別途提供される、学習者用端末ソフト「タブレットシンク」から送られた画像を簡単に並べて比較できます。



ボリュームを調整する



ボタン操作で、パソコンのボリュームを調整できます。



※後付電子黒板 (CBS-01、CBS-01L) をご利用の環境では、ディスプレイのボリュームを調整します。

イージーバー

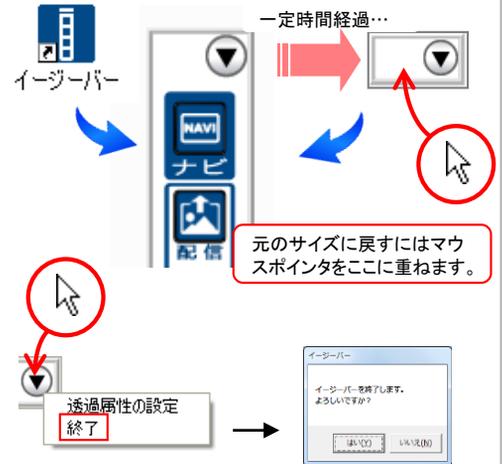


イージーバーを使って、イージーコントローラーと同様の操作を行うことができます。

イージーバー

■イージーバーを利用するには

- ①パソコンの電源を入れる
「Windows」と一緒に「イージーバー」も自動的に起動します。
※イージーバーを終了させた場合(③)は、②の手順で手動で起動させます。
- ②イージーバーを起動する (手動で起動させる場合)
デスクトップ上の「イージーバー」ショートカットアイコンをダブルクリックします。
⇒ イージーバーが起動します。
- ③イージーバーを終了する
イージーバーメニューボタン→「終了」をクリックします。



その他の便利な機能を使う (NAVI画面)



電子黒板をさらに使いこなすための便利な機能へのナビゲーション画面「NAVI画面」を表示します。NAVI画面に登録されている便利機能ボタンにタッチすることでその機能をご利用いただけます。



NAVI画面の編集(ボタンの並びの変更、ボタンの登録)に利用します。

複数あるNAVI画面のページを切り換えます。

▶ : ページ送り
◀ : ページ戻し

画面下にある閉じるボタンでNAVI画面を閉じます。

更に詳しい情報を操作ビデオ付でWEB公開中

※ WEBの表示方法は「ユーザーズガイド」(P.8)参照

NAVI画面から呼び出すことのできる便利機能(一例)



NAVI画面から次のような便利な機能を呼び出すことができます。

- 一斉提示学習をサポートする機能
- 児童・生徒の協働学習をサポートする機能
- その他

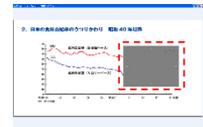
一斉提示学習をサポートする機能



シェード

質問の答えなど隠したい部分を隠すことができます。

シェード上に授業で使いたいコンテンツ(ファイル)をドロップすると、シェードで隠された状態でコンテンツを起動しますので、便利です。



学校素材集を開く

授業で利用できる5000点を超えるイメージ素材を用意しました。

素材は「学校素材集のサムネイル一覧を表示する」から確認できます。



フラッシュリマインド

画面メモで残した授業のポイントを「フラッシュカード」のように再生できるので、振り返り授業に活用できます。

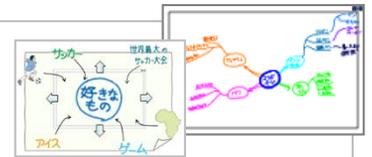


児童・生徒の協働学習をサポートする機能



コラボモード

コラボモードは、最近話題の協働学習やアイデアマッピング、コラボレーションを促進する目的で創られたツールです。電子黒板を活発な意見交換の場所としてご利用いただけます。



シンプル画像比較

協働的な学びで重要となる「比較」や「グルーピング」を支援する機能です。

デジタルカメラの画像や生徒端末から送られた画像を簡単に並べて比較できます。



マスターシンク

さまざまなデバイスから受け取ったイメージを画面に表示させる協働学習支援ツールです。(※)

- ・ スキャナで学習プリントを取り込むと、すぐに電子黒板に表示できます。
- ・ Eye-Fiカードと組み合わせることで、デジカメで撮影すると、すぐに電子黒板に表示できます。
- ・ 別途提供される、学習者用端末ソフト「タブレットシンク」を使って、電子黒板から問題の配布、学習者用端末ソフトからの回答の受信および表示ができます。

※ 本機能の利用には別途、xSyncライセンスが必要となります。
※ 合わせて、無線LAN環境、機材が必要となります。



その他

その他にも授業をサポートする便利な機能を呼び出すことができます。

また、ご利用のデジタル教科書を起動するための「デジタル教科書リンク」機能もNAVI画面から呼び出すことができます。

更に詳しい情報、その他の機能は教育サイトに掲載しております。ご確認ください。

更に詳しい情報を知りたいときは

ユーザーズガイド

電子黒板のご利用にあたり、更に詳しい情報、困ったときの対応方法をこのユーザーズガイドから表示することができます。



はじめての電子黒板

- クイックマニュアル ペンや消しゴムなどの基本的な使い方を説明しています。
- 電子黒板の研修 電子黒板を導入した後の研修を体験できます。(*)

システムの特長（操作ビデオ付）

- 基礎編 ペンや消しゴムなどの基本的な使い方を更に詳しく説明しています。(*)
- 応用編 授業でよく使う機能の使い方を説明しています。(*)
- 便利機能 一斉提示学習や児童・生徒の協働学習をサポートする機能を説明しています。(*)

困ったときは

- よくあるご質問集 昨日までは使えたのに。。。〇〇できない！という際にご覧ください。
- 最新の現象別トラブルシューティング 「よくあるご質問集」に直近のトラブルシューティングを追加掲載しています。(*)

(*) インターネットに接続できる環境でご利用いただけます。

電子黒板 / 教育サイト

電子黒板に関する最新情報、製品情報、サポート情報などが掲載されています。

電子黒板 / 教育サイト	http://xsync.vcube.com/edu/
サポート情報はこちら	http://xsync.vcube.com/edu/information/

電子黒板ソフトウェアのご利用条件

対応OS ※1、2、3	Microsoft Windows Vista® Business SP2（32bit版のみ）
	Microsoft® Windows® 7 Professional SP1
	Microsoft® Windows® 8 / 8.1 Pro
	Microsoft® Windows® 10 Pro
CPU ※4、5、6	Intel® Core™2Duo プロセッサ1.86 GHz 以上
メモリ ※5、6	1 GB以上（推奨2 GB以上）

※1 Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。※2 記載以外のエディション、サービスパックには対応していません。※3 OSのアップデート環境には対応していません。※4 Intel、Pentium、Core2Duoは米国及びその他の国における Intel Corporationまたはその子会社の登録商標または商標です。※5 併用するアプリケーションやウイルス対策ソフト、ご使用の機能の設定によっては、正常に動作しない場合があります。※6 推奨のご利用条件は解像度表示を1366x768の設定でご利用した場合の値です。

代理店連絡先